

第5次芦屋市総合計画  
前期基本計画施策評価報告書  
(令和5年時点)

(文化関連抜粋)

令和6年2月  
芦 屋 市



定的意見（「やや不満」「不満」の合計割合）

## ② 関連するSDGs項目

施策目標に関連するSDGsを記載しています。

## ③ 前期基本計画の施策評価

まず、「取組の実施状況」（下記④（イ））における主な施策に対する取組状況から評価した「展開状況」の評価を基に、「取組の評価」を「○」「△」「×」の3段階で総合的に評価します。次に、「取組結果」（下記④（ウ））における「結果の評価」を「s」「a」「b」「c」の4段階で総合的に評価します。そのうえで、上記2つの評価を組み合わせ、「総括結果」を「S」「A」「B-1」「B-2」「C」の5段階で評価し、前期基本計画における策定当初の目標を達成できているか否かを判定します。

また、「総括」では、総括結果の理由のほか、前期計画期間の取組を行ったうえでの課題や今後の方向性を記載しています。

さらに、「新たな気づき」では、前期基本計画の策定以降（令和3年度以降）において、経済環境・コロナ禍の社会の変容などにより、施策目標に関わる取組を行った際に改めて気づいたことなどを記載しています。

| 総括結果                               | 取組の評価 | 結果の評価 |
|------------------------------------|-------|-------|
| S: 当初の施策目標が十分に達成されている。             | ○     | s     |
| A: 当初の施策目標が達成されている。                | ○     | a     |
|                                    | △     | s     |
| B-1: 当初の施策目標があと少しで達成される。           | ○     | b     |
|                                    | △     | a     |
| B-2: 当初の施策目標は達成しているが、取組を再考する必要がある。 | ×     | s、a   |
| C: 当初の施策目標があまり達成されていない。            | ○     | c     |
|                                    | △、×   | b、c   |

## ④ 重点施策の取組状況

下記評価方法で客観的に判断します。

「前期基本計画の内容（Plan）」（ア）は、基本施策ごとで、前期基本計画の主な施策の内容を記載しています。

「取組の実施状況（Do）」（イ）は、令和5年度上半期（9月末時点）までの取組の実施状況と実施時期を記載しています。また、「展開状況」を次の3段階で評価しています。

### [展開状況の評価方法]

「施策」の展開状況を全て実施した（着手も含む） ⇒ 全て実施（○）  
「施策」の展開状況が一部実施、一部未実施 ⇒ 一部実施（△）  
「施策」の展開状況を全て未実施 ⇒ 未実施（×）  
※コロナ禍等により、代替事業の実施でも可。

### [施策目標全体としての展開状況の評価方法]

「○」：3点、「△」：1点、「×」：0点とし、平均を算出し、  
2.5点以上：「○」、1～2.5点：「△」、1点未満：「×」とする

「取組結果（Check）」（ウ）として、施策に関わる指標を複数設定しています。第5 芦屋市次総合計画前期基本計画の策定時にあたる令和3年度から令和5年度現在までのデータを掲載しています。また、指標推移の「傾向」を次の4段階で評価しています。

### [傾向の評価方法]

**【数値の増加が望ましい指標の場合】** 達成率（%）＝現在の値/目標とする値

- s：105%以上
- a：90%～105%未満
- b：75%～90%未満
- c：～75%未満

**【数値の減少が望ましい指標の場合】**（達成率を「-」と記載）

- s：計画策定時より最新数値で数値が減少、かつ、「めざす値」を達成した
- a：計画策定時より最新数値で数値が減少
- b：計画策定時より最新数値で数値が横ばい、同等
- c：計画策定時より最新数値で数値が増加

### [施策目標全体としての傾向の評価方法]

「s」：3点、「a」：2点、「b」：1点、「c」：0点とし、平均を算出し、  
2.5点以上：「s」、1.5～2.5点未満：「a」、1～1.5点：「b」、  
1点未満：「c」とする

## ⑤ 年度の表記について

前期基本計画は、令和3年度より開始しているため、令和2年度以前から引き続き実施している場合は、原則年度の記載はしていません。また、令和3年度のみ実施している場合は、「R3年度」と表記し、令和3年度から4年度にかけて実施完了した場合は、「R3～R4年度」と表記し、令和3年度から今現在も実施している場合は、「R3年度～」と表記しています。

■ 施策評価シート

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 施策分野 | 1 子育て・教育              |
| 施策目標 | 3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている |

|         |          |
|---------|----------|
| 施策目標推進部 | 施策とりまとめ課 |
| 教育部     | 生涯学習課    |

市民アンケート調査 (R5.6実施) ※小数点第2位の四捨五入の関係で、合計値が100%にならない場合があります。

| 施策目標に対する調査結果 |       |       |      |
|--------------|-------|-------|------|
| 肯定的意見        | 否定的意見 | わからない | 無回答  |
| 46.1%        | 29.5% | 23.2% | 1.2% |

(1) 関連するSDGs項目

|  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(2) 前期基本計画の施策評価

|  |
|--|
| 総括結果   |
| <b>B-1:当初の施策目標があと少しで達成される。</b>   |
| 総括(総括結果の理由、課題、今後の方向性)  |
| <p>「3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている」において、計画の主な取組状況については、「全て実施」となっている項目があるものの、「一部実施」となっている施策が多く、全体的な取組の評価としては「一部実施」となっています。しかしながら、施策目標の指標については、総じて達成しており、「総括結果」としては「当初の施策目標があと少しで達成される。」といえます。</p> <p>「3-1 文化の継承と活用に努めます」では、芦屋市民文化賞や芦屋市善行賞「つつじ賞」の表彰式を開催、徳川大坂城東六甲採石場400年記念事業にて、記念講演会をYouTubeで動画配信を実施、ヨドコウ迎賓館の発掘調査現地見学会などのイベントを開催しました。今後も、オンラインも含めた開催など、参加者を増やす方策を検討して事業を実施することで、歴史的・文化的な資源の活用に取り組んでいきます。また、図書館でのイベント実施、市役所や市立図書館において市立小中学校による読書活動紹介展示を実施するなど、「読書のまち」として広く市民に啓発する機会を設けており、学校との連携も取り組みました。部活動については、部活動技術指導者及び部活動支援員の配置、部活動の地域移行に向けた体制づくりに取り組みました。地域、団体、大学等との連携事業としては、芦屋大学と芦屋学園と協力し、小学生等を対象にした各種教室を開催しました。また、芦屋市スポーツ協会、芦屋市レクリエーションスポーツ協会とクロリティー交流大会を実施し、障がい者スポーツ指導者協議会と障がい者とのスポーツ交流ひろば、スポーツリーダー養成の認定講習会の開催に加えて、スポーツ活動で顕著な成績を残した市民への表彰等を行いました。今後も市民にスポーツを親しんでいただけるよう、事業の実施に取り組みます。</p> <p>「3-2 市民による学びの仕組みづくりを進めます」では、生涯学習出前講座(76講座)の実施や芦屋川カレッジを開校するなど、学習機会の提供に取り組みました。引き続き地域の課題解決を図るための活動や地域づくりの推進のため、様々な学習活動の機会を充実させていきます。</p> |
| 新たな気づき(経済環境・コロナ禍の社会の変容などに対し取り組み、認識したこと)  |
| <p>○受賞式を、他の受賞式や行事と併せて開催することで、芦屋の文化をより多方面に広く発信でき、まちの魅力発信に寄与しました。</p> <p>○図書館では、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年度の行事等は開催回数、募集人数等を縮小して実施しました。来ていただくことが図書館の利用促進につながるという前提に立つのではなく、今後は、非来館型サービスやアウトリーチサービスの充実に取り組む必要があります。</p>  |

(3) 施策の取組状況

| ア 前期基本計画の内容 (Plan) |   | イ 取組の実施状況 (Do)   |             |
|--------------------|---|--|-------------|
| 前期5年の重点施策          |   | これまでの主な取組状況  |             |
| 基本施策               | 主な施策  | 取組の実施状況  | 展開状況        |
| 3-1 文化の継承と活用に努めます  | 3-1-1 歴史的・文化的な資源の活用推進<br>個性豊かで幅広い芦屋文化が創造されるまちづくりの実現を目指し、社会教育施設・文化施設の有効利用や史跡・文化財などの保存・活用を推進します。  | ①徳川大坂城東六甲探石場400年記念事業の実施(R3.12~R4.1):記念講演会やワークショップ等を実施。なお、記念講演会は、ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホールで開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、YouTubeでの動画配信へ変更。<br>②阿保天神社力石を市指定文化財の指定(R3.4.8)。<br>③金津山古墳を兵庫県指定史跡の指定(R5.3.17)。<br>④美術博物館の改修工事に伴い、歴史資料展示室を拡充してリニューアルオープン(R5.4)。<br>⑤ヨドコウ迎賓館の発掘調査現地見学会を開催(R5.10)。<br>⑥市民センター実施事業(R3年度):講演会や展示場を歴史的建築物として利用し、PRを実施。<br>⑦文化推進審議会を開催:令和3年3月に策定した「第2次芦屋市文化推進基本計画」の進行管理を行う。市内の主要文化施設の3施設の協議会から委員として各1名ずつ参画、強固な連携が図れる体制づくりを構築(R3年度、R4年度:1回、R5年度:2回予定)。<br>⑧文化推進基本計画の市民意識調査を実施(R5.6):総合計画の市民意識調査と一体的に実施。<br>⑨芦屋市民文化賞の贈呈:学術、科学、教育などの研究実践や芸術、芸能、体育などの活動、その他地域社会の向上発展に貢献し、その功績が顕著な人又は団体に対し、毎年11月3日「文化の日」に表彰を実施。寺本 郁子 氏(R3年度)、石本 章宏 氏(R4年度)、芦屋川カレッジ学友会・高殿 円 氏(R5年度)にそれぞれ贈呈。<br>⑩芦屋市善行賞「つじ賞」の贈呈:まちの美化や善行を続けている市民及び芦屋市に関係がある個人・団体に対し、毎年6月1日「善意の日」を記念して表彰を実施。酒井 裕子 氏(R3年度)、グループメルヘン(R4年度)、葉元 充 氏(R5年度)にそれぞれ贈呈。<br>⑪芦屋市警察官感謝状の贈呈:市内の治安等の確保に顕著な功績があった警察官に対し、表彰を実施。太田 行雄氏、大加茂 徹氏(R3年度)、阪口 直之氏、山本 拓矢氏(R4年度)、鈴木啓文氏、仲田 秀一氏(R5年度)にそれぞれ贈呈。<br>⑫市民の芸術文化活動振興のため、活動助成及び顕彰を実施<br>ⅰ 芸術文化活動助成 R3年度:4件、R4年度:2件。<br>ⅱ 芸術文化活動表彰 R3年度:個人23人3団体、R4年度:個人19人 3団体。 | △<br>(一部実施) |
|                    | 3-1-2 多様な連携による読書のまちの推進<br>市民が知識や教養を高めることができるよう、図書館利用の促進に加え、学校図書館との連携充実などに取り組みます。                | ①図書館事業の実施<br>ⅰ 図書貸出冊数 R3年度:722,128冊、R4年度:696,621冊。<br>ⅱ 利用人数 R3年度:184,279人、R4年度:180,576人。<br>ⅲ 行事 R3年度:開催回数48回(のべ2,808人)、R4年度:開催回数181回(のべ参加人数2,162人)。<br>ⅳ 図書展示 R3年度:定例12回 その他4回 学校連携9回。<br>R4年度:定例12回 その他10回 学校連携10回。<br>ⅴ 電子図書館 R3年度:閲覧16,711回 貸出8,626回。<br>R4年度:閲覧39,772回 貸出20,686回 ※R3.8.1から開始。<br>ⅵ 出前授業(小学校・幼稚園) R3年度:3校152人、R4年度:2校293人。<br>ⅶ 出張読み聞かせ(幼稚園・保育所) R3年度:1回29人、R4年度:2回71人。<br>ⅷ 来館読み聞かせ(こども園・保育所) R4年度:10回170人。<br>ⅸ 学校図書館司書と図書館司書の合同研修 R3年度:1回、R4年度:1回。<br>②公民館図書室事業の実施(利用人数 R3年度:17,988人、R4年度:14,386人)。<br>③「読書スタンラリー」等の配布(R3~R5年度):春の読書月間と秋の読書週間に、市内の全ての就学前施設・市立小中学校へチラシ配布。<br>④学校図書館担当者会の実施(R3~R5年度):指定した3校の読書推進モデル校の研究結果を共有。<br>⑤市立小中学校による読書活動紹介展示(R3~R5年度):市役所や市立図書館で実施。   | △<br>(一部実施) |
|                    | 3-1-3 誰もが健康で豊かなスポーツ文化を楽しめる環境の推進<br>地域や団体、学校と連携しながら「する・みる・きさえる」スポーツ文化を醸成し、すべての市民が楽しめる環境づくりを進めます。 | ①官学連携事業:芦屋大学・芦屋学園と協力し、春のファミリースポーツのつどいを開催。就学前児童と小学生を対象にかけっこ教室・サッカー教室・バレーボール教室を実施。<br>②クロリティー交流大会を開催:芦屋市スポーツ協会・芦屋市レクリエーションスポーツ協会と協力。<br>③スポーツフェスタを開催:スポーツ推進委員と協力し開催。<br>④スポーツ交流ひろばを開催:障がい者スポーツ指導者協議会と協力し、偶数月に福祉センターにて開催。<br>⑤スポーツリーダー認定講習会を開催。<br>⑥スポーツ活動において顕著な成績を残した市民へスポーツ賞の授与並びにスポーツ活動助成金を交付(R3年度:28件、R4年度:15件)。<br>⑦部活動技術指導者及び部活動支援員の配置。<br>⑧市ガイドラインに沿った部活動の運営の促進。<br>⑨学校部活動の地域移行に向けた体制づくり。<br>⑩体育的行事の活性化:体育担当者会議において好事例を情報共有。<br>⑪児童・生徒に対し各種スポーツ大会への積極的参加を促進。<br>⑫体力・運動能力調査の実施。  | △<br>(一部実施) |
|                    | 3-2 市民による学びの仕組みづくりを進めます   | ①生涯学習出前講座の実施<br>ⅰ 事業回数 R3年度:16回、R4年度:25回。<br>ⅱ 実施講座数 R3年度:75講座、R4年度:76講座。<br>②あしや学びあいセミナーの実施<br>ⅰ 登録団体 R3年度:23団体、R4年度:23団体。<br>ⅱ 実施回数 R3年度:1回、R4年度:5回。<br>③のびのびバスポートの配布:市内在住の小中学生を対象に配布(R3年度:8,000枚、R4年度:8,000枚)。  | ○<br>(全て実施) |
| まとめ                |   | 取組の評価  | △<br>(一部実施) |

| ウ 取組結果 (Check)                      |       |    |    |      |    |            |        |    |
|-------------------------------------|-------|----|----|------|----|------------|--------|----|
| 施策目標の指標(単位)                         | 指標の推移 |    |    |      |    | めざす値<br>R7 | 達成率(%) | 評価 |
|                                     | 計画策定時 | R3 | R4 | R5   | R6 |            |        |    |
| 芦屋市内の主な歴史的・文化的な資源を知っている人の割合(%)      | 64.1  | -  | -  | 81.6 | -  | 70.0       | 116.6% | s  |
| 月に1回はスポーツ、芸術、歴史に触れるために外出している人の割合(%) | 42.5  | -  | -  | -    | -  | 50.0       |        |    |
| この1年間で自発的に学びを得る機会があった人の割合(%)        | 46.9  | -  | -  | 44.4 | -  | 52.0       | 85.4%  | b  |
| 結果の評価                               |       |    |    |      |    |            |        |    |
| a                                   |       |    |    |      |    |            |        |    |

|    |  |
|----|--|
| 備考 | <p>施策目標の指標のうち、「月に1回はスポーツ、芸術、歴史に触れるために外出している人の割合(%)」については、R6年度に行うアンケート調査にて把握します。なお、上記と類似する質問においては、「この1年間における運動やスポーツを実施した回数」という質問において、月1回以上、運動やスポーツを行っている人は、74.4%〔【参考】H29年度:79.8%〕で、コロナ禍を経たとしても、健康増進・維持、運動不足解消などの理由により、多くの方がスポーツを行ってまいりました。もっとも、「この1年間におけるスポーツ行事」に参加したか否かという質問において、「参加した」という割合が12.4%〔【参考】H29年度:11.8%〕で、前回より増えているものの、スポーツを行っている人との大幅なギャップが見られます。(出典:第3期スポーツ推進計画 R4年度市民意識調査)</p> |
|----|--|